

特定非営利活動法人 日本免疫学会
平成 27 年後期 Tadimitsu Kishimoto International Travel Award
研究発表報告書

申請者氏名	成田 亮	会員番号	34601
申請者の 所属・職名	京都大学 ウイルス研究所/生存圏研究所 研究員		
出席会議名	Cytokines 2015		
発表論文 タイトル	A Novel Function of Human Pumilio Proteins in Antiviral Innate Immunity		

実施結果:

この度は平成27年後期Tadimitsu Kishimoto International Travel Awardを賜り誠にありがとうございました。岸本忠三先生、選考委員のみなさま、藤田尚志教授ならびに推薦して下さった竹内理教授に深く感謝いたします。私は本Travel Awardによるご支援のもと、2015年10月にドイツのバンベルクで開催されたCytokines 2015に参加し、ポスター発表を行って参りました。

私はこれまでに、細胞内でウイルス感染を検知しI型インターフェロンの産生を誘導するRIG-Iファミリータンパクの機能解析を行ってきました。最近ではヒトPumilioタンパクがウイルス感染に応答したI型インターフェロンの産生誘導に関与していることを報告しました。本学会では抗ウイルス自然免疫関連の演題が非常に多く見受けられ、近年の抗ウイルス自然免疫研究における競争の激しさを改めて感じました。ポスターセッションでは様々なバックグラウンドの研究者と非自己認識機構について深い議論ができ、今後研究を発展させていく上で非常に有意義なものとなりました。また、本学会で共同研究者や参加者との議論を通じて、海外留学に対するモチベーションが高まったことも本学会で得られた収穫の一つとなりました。

本学会を通じて得られた経験を活かし、また、今回の受賞を励みに今後もさらに研究に精進していきたいと思います。